

プルット F3[®] カロチッド・シャント



プルット F3[®] カロチッド・シャント



デュアルバルーンを用いた
優れた脳灌流用カテーテル

ORDERING INFORMATION

	直径	長さ	製品番号	JANコード
プルット F3 アウトライン・カロチッド・シャント				
アウトラインシャント (T-ポート付)	8F	31 cm	2013-10M	4571191913739
アウトラインシャント (T-ポート付)	9F	31 cm	2012-10M	4571191913715
プルット F3 インライン・カロチッド・シャント				
インラインシャント (T-ポート付)	9F	15 cm	2012-12M	4571191913722

この仕様は保障されたものではありません。製品の向上のために予告なしに変わることがございます。詳細は担当営業にご確認ください。

【警告】

- ・本品は天然ゴムを使用しています。天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー症状をまれに起こすことがある。このような症状を起こした場合は、直ちに使用を中止し適切な措置を施すこと。
[重篤なアレルギーを起こす恐れがある為]
- ・空気やガスでバルーンを膨張させないこと。[空気塞栓の恐れがある為]
- ・バルーンの膨張は推奨最大容量を超えないこと。[バルーンの破裂、カテーテルの破損、血管損傷の恐れがある為]
- ・血管内でカテーテルを移動させる時は、バルーンを収縮させてからゆっくりと行うこと。血管内でのカテーテルの操作は慎重に行い、操作中に少しでも抵抗を感じた場合は、操作を中断し、過度な力を加えずにバルーンを収縮させた状態でカテーテルの前進／引き抜きを行うこと。[バルーンの破裂、カテーテルの破損、血管損傷の恐れがある為]

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止、再滅菌禁止

販売名：プルット F3 カロチドシャント

医療機器承認番号：22700BZX00075000

LeMaitre Vascular, Inc.
63 Second Avenue
Burlington, MA 01803
USA

T 781 221 2266
F 781 221 2223

LeMaitre Vascular ULC
9135 Keele Street, Suite B6
Vaughan, ON L4K 0J4
Canada

T 905 832 8077
F 905 303 3903

LeMaitre Vascular GmbH
Otto-Volger-Str. 5a/b
65843 Sulzbach/Ts.
Germany

T +49 (0)6196 659230
F +49 (0)6196 527072

LeMaitre Vascular, Pte. Ltd.
138 Robinson Road
#12-02 Oxley Tower
068906
Singapore

T +65 6813 0281

レメイト・バスキュラー合同会社
〒102-0082
東京都千代田区一番町16-1
共同ビル一番町1F

Tel. 03-5215-5681
Fax.03-5215-5682
<https://lemaitre-japan.co.jp/>

米国本社URL
<https://www.lemaitre.com/>



プルット F3[®] カロチッド・シャント

次世代のバルーンシャント

プルットF3カロチッド・シャントは、柔軟な素材で、かつ、キンクに対して耐久性*のある素材で作られています。そしてストップコックとバルーンは識別しやすいように色分けされています。従来品のプルット・イナハラ・カロチッド・シャント(販売名:血管閉塞用カテーテル)と比較して、還流量が10%向上しています*。

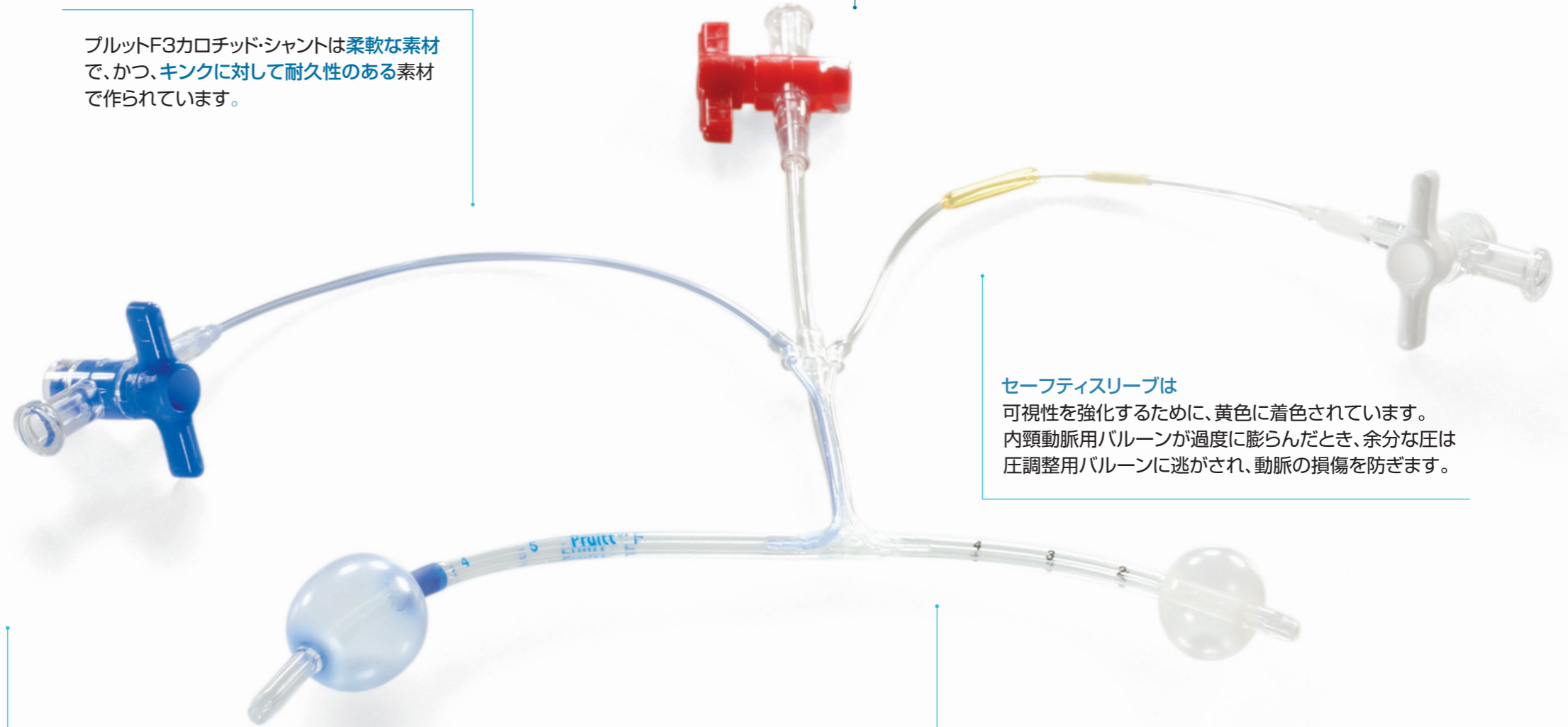
クランプを必要としない非外傷性デュアルバルーンによる遮閉

デュアル・バルーンは迅速かつ容易に挿入でき、内頸動脈や総頸動脈の損傷を最小限に抑えた遮閉を可能とします。最小限の切開で剥離を少なくした術野の展開が可能で、バルーンが、ブランク末端の視認を容易にしています。

* LeMaitre Vascular, Inc.のデータによる

プルットF3カロチッド・シャントは柔軟な素材で、かつ、キンクに対して耐久性のある素材で作られています。

T-ポート(赤色)は注入や洗浄、カテーテル内の詰りの確認、塞栓物質の除去に使用します。小さな内径により、シャント内に粒子が侵入する可能性を軽減できます。



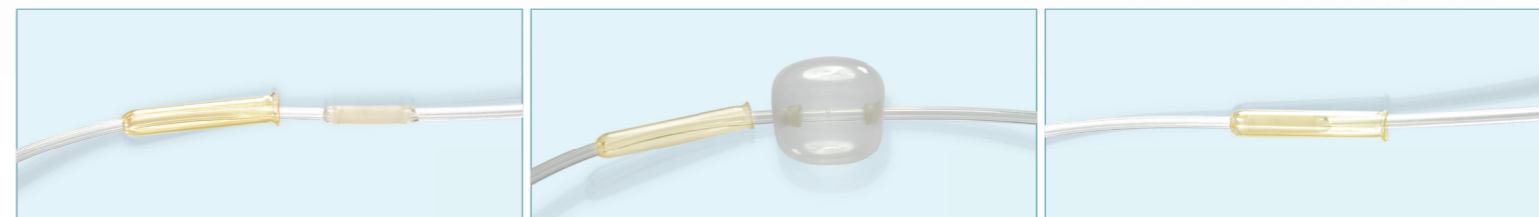
セーフティスリーブは可視性を強化するために、黄色に着色されています。内頸動脈用バルーンが過度に膨らんだとき、余分な圧は圧調整用バルーンに逃がされ、動脈の損傷を防ぎます。

深度マーカーは頸動脈内に挿入されたシャントの長さを示します。

色分けによる識別

総頸動脈側のインフレーションルーメン及び深度マーカーは、青色のストップコックから青色のバルーン(総頸動脈用バルーン)に結びつくインフレーションパスを目立たせます。

圧調整用バルーン：過膨張の防止



STEP 1 可動式セーフティスリーブが付いた圧調整用バルーンにより内頸動脈用バルーンが過膨張するリスクを最小限にします。セーフティスリーブを圧調整用バルーンから外し、内頸動脈用バルーンを膨らませます。

STEP 2 内頸動脈用バルーンが過膨張したら、余分な圧力は圧調整用バルーンに誘導され、動脈の損傷を回避できます。(写真:内頸動脈用バルーンからの圧力が逃げて、圧調整用バルーンが過膨張の状態を示しています。)

STEP 3 内頸動脈用バルーンが膨張した後、内頸動脈用バルーンがしまわないように、セーフティスリーブを圧調整用バルーンに被せます。